加温促成トマトの環境制御技術導入による生産性向上の取組み（上川農業改良普及センター）

背　景

【旭川市の概要】

〇地域は水稲が主力品目であり、水稲＋野菜の複合経営が多い

〇近年は高齢化や後継者不足を背景に、野菜の生産量及び作付面積が減少している

〇今後も野菜産地の弱体化が懸念される

【地域の課題】

〇生産性の向上・維持による収益の確保

〇ハウス管理作業の省力化及び効率化

〇次代を担う農業者のモチベーション向上

普及活動内容

①見える化ツールの活用

環境測定装置により、ハウス内環境をモニタリング

②省力化ツールの活用

自動換気装置により、ハウス側窓の換気を自動化

③生産性向上ツールの活用

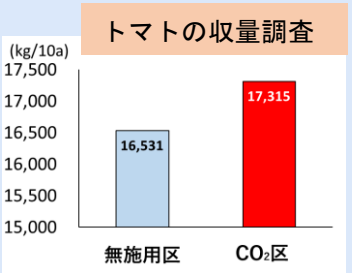
CO_2発生装置により、ハウス内で不足したCO_2を補ってトマトの光合成を促進

普及の成果

【具体的な成果】

〇ハウスの換気作業が省力化され、営農にゆとりが生まれた

〇トマトの着果が改善し、収量が向上した



【成果のポイント】

〇関係機関と連携し、農業者にスマート農業について知ってもらうための研修会を開催

〇旭川市の補助事業も相まって、省力化ツールを中心に急速に普及が進んだ

〇収量が向上することで、農業者の営農意欲も向上

（連絡先：上川農業改良普及センター　TEL　0166-84-2017）